

口腔機能低下はなぜアルツハイマー病の発症や進行に関わるのか？

講師



鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
歯科機能形態学分野

教授 後藤 哲哉 先生

主 催：鹿児島県保険医協会
T E L：099-254-8662
メール：kahokyou@yahoo.co.jp

参加費
無料

会場
先着 20 名

WEB
参加可

講師より一言

健康寿命の延伸に関心がもたれ、高齢者においては口腔機能の低下とフレイルの関係が注目されています。高齢者の口腔機能管理の推進のために「口腔機能低下症」として、咀嚼能力、咬合圧、舌圧などの検査に保険点数が導入されました。最近では、口腔機能低下と認知機能との関係についても関心がもたれており、多くの臨床研究で歯周病や歯の喪失が認知症のリスクを高めると報告されています。一方、アルツハイマー病をはじめとする認知症に関しては治療薬がほとんどなく、いまだに発症メカニズムもよくわかっていません。本講演では、「高齢で歯を失うとなぜアルツハイマー病の発症リスクを高めるのか」について説明します。

と き：12月10日(土) 18時30分～20時30分

参加方法：①会場参加(サンプラザ 天文館 2 階ホール) ※1 医療機関 2 名迄

所在地：鹿児島市東千石町 2-30 ☎099-224-6639

②Web 参加 (Zoom ウェビナー)

申込締切
12月7日(水)

返信 鹿児島県保険医協会行き

FAX 099-254-8667

12月10日(土) 第66回歯科研究会

①会場で(1・2)名参加します。←「1」か「2」に○を付けて下さい

お名前 () 医療機関名 ()

ご記入者 () ご連絡先 ()

②Web 参加ご希望の方は、本会ホームページ「今後の催しのご案内」、
または右記QRコードよりお申込下さい。

※開催前までに、お申込み頂いたメールアドレス宛に参加案内をご連絡します。

